



奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校

学校教育目標

1月号

笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘

- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

<http://www-local.edu.city.yokohama.jp/sch/es/naranooka/>

新年を迎えて

～人とのつながり～

校長 岩崎 健治

新年あけましておめでとうございます。新年を迎えるにあたり、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。旧年中は、新型コロナウイルス感染症により、様々な教育活動が制限される中、皆様のご理解とご協力を賜りましたこと誠にありがとうございました。

本年も「笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘」のもと、子どもたちの安全と安心、健康を第一に考えながら、確かな成長をめざして教職員一同努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年から先が見えない厳しい状況が続き、教育活動が制限され、子どもたちは、今まで行ってきた「縦割り活動」や「全校遠足」など「人とのつながり」を大切にした教育活動がもてない状況を余儀なくされてきました。本来、人とかがわることは、お互いに温かさや安心をもたらすことであり、孤立を防ぎ、互いの絆を深めることでもあると思います。この社会状況を契機として、今、改めて「人とのつながり」の大切さについて考えていく必要があると思います。

一方で、人とのつながり、協力する力の大切さを言葉や視覚で伝えても、子どもたちはそうそう実感を伴っての理解は難しいと考えます。なによりも周りの大人がそのような生き方をすることで、その中で育つことの大切さがますます重要な社会になってきていると思います。

子どもに関わる全ての大人が、今できる可能な環境を整え、多様なコミュニティーを創造し、大人社会の相互信頼を高めることで、子どもに安全、安心できる空間を提供していくことや地域、家庭、学校が一体となって、今まで以上に、子どもたちに、多くの大切な人との出会いを創っていくことは、子どもたちが自他の尊さや人とのつながりを実感し、自ら問題を解決していけるたくましい心を育てていくことにつながります。

この状況だからこそ、子どもに関わる全ての大人が信頼関係を結び、関わり合える社会をつくっていくことは、温かく寛容な風土を醸し、子どもたちを柔らかく包むことであり、社会全体でそのものを乗り越えていくことに他ならないと思います。新年を迎えて、これからも可能な限り地域や家庭、学校でできる「人とのつながり」を大切にした教育活動を考えていきたいと思っています。

さて、6年生の卒業まで、残すところ3ヶ月となりました。学校におけるこの3ヶ月は、在校生が「6年生頼り」から脱却していく時期であるとも言えます。6年生には、最後まで全力で自分の力を発揮してほしいと思います。そして、この状況の中でも素晴らしい学校づくりのリーダーとして頑張ってきた6年生から、学校のリーダーとしての責務を受け取る在校生は、「人とのつながり」を大切にして残る3ヶ月を過ごしてほしいと願っています。

